

自己評価報告書

平成23年4月25日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20330063

研究課題名(和文) 金融制度改革が実態に与える影響に関する理論および実証研究

研究課題名(英文) Theoretical and empirical analysis about the effects of financial system reform on real economy

研究代表者

柳川 範之(Yanagawa Noriyuki)

東京大学・経済学研究科・准教授

研究者番号：80255588

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学、財政学・金融論

キーワード：金融論、金融制度、法と経済、コーポレート・ガバナンス、マクロ経済

1. 研究計画の概要

本研究では、我が国の金融市場において近年急速な変化や改正が行われた制度改革がどのようなものであったのか、その実態に沿って評価するとともに、その経済活動への影響を理論的・実証的に明らかにすることを目的としている。特に金融資本市場改革がコーポレート・ガバナンスの実情をどのように変化させ、それが企業行動やマクロ経済にどのような影響を与えるかを理論的・実証的に明らかにする。

2. 研究の進捗状況

まず、金融・資本市場改革がコーポレート・ガバナンスの実情にどのような影響を与えたのかに関する実証分析について、重要な研究成果が得られている。

企業行動に関連する主要制度改革である倒産処理法制改革の影響に関しては、幾つかの重要な事実を実証に明らかにし、雑誌論文として公表に至っている。具体的には、財務データを用いてオペレーティング・パフォーマンスの変動を検証し、業績の落ち込みがあったから倒産に至るまでの期間を計測した。その結果、倒産処理法制改革後、倒産に至るまでの期間が短期化していることが確認された。

また、近年の証券市場の動向に関して、時価発行増資の株価への影響や、新たな資金調達手段であるMSCBの発行動機についても実証分析を進め、一定の成果を得ることができた。具体的には、株価イベント・スタディの手法を用いて時価発行増資実施決議時の株価への影響を検証し、米国市場と同様に、株価へ負の影響があることが確認された。これは、先行研究とは異なる分析結果である。

さらに、MSCBについては、発行後の資金使途について分析を行い、負債圧縮による資本構成改善が目的であった可能性を確認した。

次に、金融資本市場の制度改革がどのように企業行動に影響し、マクロ経済活動に対して影響を与えるのかについても、主に理論的な研究成果が得られている。具体的には金融制度の進展が、景気動向や経済成長率、バブルの発生・崩壊にどのように関係しているのかについて、多くの分析結果が得られている。この点は、研究開始後に発生した世界的な金融危機によって、現実的にも非常に大きな課題となっている。そのため、これに関連した研究が内外でも活発に行われており、ここで得られた研究成果についても、多くの研究者にとりあげられている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

研究開始後、世界的な金融危機が発生し、経済環境が大きく変化した。そのため、分析枠組みや分析対象等についても、ある程度、実態変化に合わせて修正する必要性が生じた。が、そのような変化も合わせて、近年の金融に関連する制度改革の影響を包括的に研究することができている。現段階では、具体的に研究成果として結実しているものはまだあまり多くないものの、研究結果は比較的順調に得られている。

4. 今後の研究の推進方策

金融危機の影響から、現在でも、世界的に金融制度改革はかなりのスピードで行われており、これらをうまく整理する形で得られつつある研究結果をまとめる予定である。また、制度改革の影響に関する理論分析に対応する形での実証分析を進め、これまでの分析内容の妥当性について、さらなる検証を進め、全体をまとめる作業を行っていく方針である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

広瀬純夫, "Effects of the Bankruptcy Laws Reform on Banks? : The examination of recent Japanese experience," Public Policy Review, Vol. 5, No. 2, pp. 201-228, 2009, 査読無

広瀬純夫・大木良子「日本におけるエクイティ・ファイナンスの実情：増資決議時の株式市場の反応とMSCB発行動機に関する実証分析」旬刊商事法務 No. 1874, pp. 4-19, 2009, 査読無

広瀬純夫・秋吉史夫 「倒産処理法制改革による企業倒産処理効率化の検証：再建着手の早期化促進の効果を、財務データによる実証分析によって検証」経済研究(編集 一橋大学経済研究所) Vol. 61, No. 3, pp. 193-202, 2010, 査読有

[学会発表] (計5件)

Noriyuki Yanagawa, "Financial imperfection and Outsourcing Decision" The 4th Annual Meeting of the Asian Law and Economics Association, 九州大学、2008年9月

広瀬純夫・大木良子「日本におけるエクイティ・ファイナンスの実情：増資決議時の株式市場の反応とMSCB発行動機に関する実証分析」日本私法学会第73回(2009年度)大会 シンポジウム「コーポレート・ガバナンスと経済分析：実証研究からの示唆」於成蹊大学法学部, 2009年10月

Tomohiro Hirano and Noriyuki Yanagawa, "Asset Bubbles, Endogenous Growth, and

Financial Frictions" 2010年度日本経済学会秋季大会、関西学院大学、2010年9月

Tomohiro Hirano and Noriyuki Yanagawa, "Asset Bubbles, Endogenous Growth, and Financial Frictions" Econometric Society World Congress, Shanghai, 2010年8月

Tomohiro Hirano and Noriyuki Yanagawa, "Asset Bubbles, Endogenous Growth, and Financial Frictions" KIEA Conference 2010 at Chung-Ang University, Seoul, 2010年8月

[図書] (計1件)

宍戸善一・柳川範之・大崎貞和、『公開会社法を問う』、日本経済新聞出版社、2010年6月

[産業財産権]

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
特になし